

婦人会報

令和七年
立教188年 12月 2025年



天理教婦人会旭日支部

通巻558号

一月例会案内

日時 一月九日（金）午前十時
場所 旭日大教会
内容 教祖祭
お願いごとめ
ておどり（後半下り）
支部長様ご挨拶
お年玉配布（おふでさき短冊等）
新年会



女子青年例会案内

日時 12月14日（日） 8時45分集合
内容 大教会大掃除

女鳴物練習

月次祭終了後、13時から14時、1号館2階で、女鳴物の練習をさせていただきます。
ご希望されます方は、教会を通して22日までに鳴物係へご連絡下さい。
※琴希望の方は琴爪をご持参下さい。

一月例会役割

扨者	藤井 綾子	関 薫
賛者	村井 みちよ	前田 理恵
指図方	庄司 典子	
地方		後半
〃		吉日
笛		吉日
ちゃんぽん		大倭
拍子木		大倭
太鼓		大倭
すり鉦		旭陽都
小鼓		直轄
琴		直轄
三味線		直轄
胡弓		直轄

十二月月次祭炊事当番

教会	朝 和	城 久	旭 道
係員	小島 久恵	杉本 幸	

◇係員の方は午前九時十分、会員の方は午前九時十五分までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

十二月月次祭託児ひのきしん当番

教会	鷺 尾
係員	村井 佳苗

◇午前九時より祭典終了までです。

教祖140年祭特別展示

「おやさま」

心にふれる ゆかりの品々

教祖140年祭を前に、教祖のご生涯を身近に感じられる特別展示展がおやさとやかた南右2棟地下2階で開かれています。

特別展示展では、教祖ご自身が筆をとられた『おふでさき』（写真版）をはじめ、辻とめぎく様の琴・琴爪、飯降(後の永尾)よしゑ様の三味線とバチ、雨乞いづとめで使用された締め太鼓など、教祖の「ひながたの親」としてのお心や当時の息づかいを感じる品々が並んでいます。

さらに、教祖の赤い下駄、お手製のぬいぐるみ・ようじいれ・瓶入れ、教祖に戴かれた扇子や盃、差し入れに使われた鉄瓶など、ひとつひとつの品に、先人が大事に守り伝えてこられた思いが込められている展示となっております。どうぞこのまたとない貴重な機会に おちば帰りされたあとは、展示会場に足をお運びいただき、教祖ゆかりの品々をご覧ください。

内容 教祖ゆかりの品、写真パネルの展示など

開催期日 立教188年：12月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)

20日(土)・21日(日)・25日(木)・26日(金)

立教189年：1月24日(土)・25日(日)・26日(月)・27日(火)

※12月26日は午後1時から開催、1月26日は午後2時30分から4時30分

時間 午前10時から午後3時まで

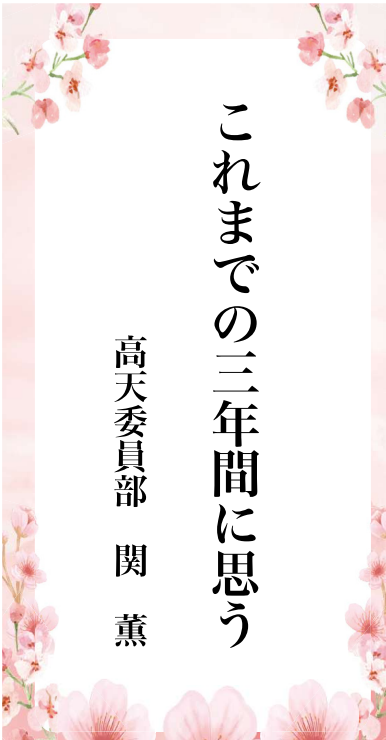
場所 おやさとやかた南右第2棟地下2階



教祖140年祭

立教189年(令和8年・2026年) 1月26日(月) 午前10時30分

心一つに、おちばへ



これまでの三年間に思う

高天委員部 関 薫

いよいよ教祖百四十年祭まで後二ヶ月足らずとなりました。立教百八十五年十月に論達第四号が発布されてからの約三年間を、私はどのように歩ませて頂いただろうか、と振り返ってみると、本当に様々なことがありました。

一年目の立教百八十六年、一人娘が結婚し、新しい息子との縁を繋いで頂きました。奥手な娘だと思っていましたので、お付き合っていることを聞いてビックリ！ また、婿養子として家に来て下さると聞いて二度ビックリ！

二年目の立教百八十七年、高天分教会が設立から百

年を迎え、五月に記念月次祭を執り行わせて頂き、また、十二月には祖父母の三代会長夫妻の二十年祭と三十年祭を行いました。そんな中、母の認知症の症状が顕著となり、介護サービスを受けることとなりました。平素と違う状況に置かれると誰でも不安になるものですが、母も施設の環境に慣れるまでパニックになってしまい、私たちも対応の仕方がわからず、最初は大変で、喧嘩もしました。しかし、施設の方とも協力して試行錯誤しながら、一、二時間の滞在から始め、昼食まで、夕食までと時間を延ばし、宿泊もできるようになり、今年六月の大教会創立百三十周年記念祭には、安心して、教会の者が皆ひのきしんに出させて頂くことができました。本当にありがとうございました。

三年目の立教百八十八年の今年、孫が誕生しました。我が家では、七十七年ぶりの男子です。孫パワーというのはいけません。多少のしんどいことがあっても、泣いていようが、笑っていようが、この子の顔を見るだけで、ほっこりした気持ちにさせてくれます。頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

本当に、親神様が繋いで下さる様々な人との縁とい

うものは、私たちには計り知れないものです。数年前の私には、おばあちゃんになった私など、想像もできなかったでしょう。



また、私は今年、教区婦人会支部主任のお役を拝命しました。打診を受けたのは、まさに家庭内がシツチャカメツチャカな時で、さすがに二の足を踏んでしまい、すぐにお返事できませんでした。私は三年前にもお話を頂きましたが、自分の身上を理由にお断りした経緯があります。やはり、ここは受けさせて頂かないといけないなあと思いつつも、母の状態を考えると、きちんと役目を果たせるだろうかと本当に悩みました。それでも、まだ役に就くまでには何ヶ月もある。それまでにはこの状況も変わってくる。と思い直し、させて頂こうと決めました。不思議にも、その一ヶ月後、希望のデイサービス施設に空きができ、介護サービスを受け始めることができたのです。

人間には、今自分が置かれている状況しかわかりません。ですから、先はどうなるのかとついつい先案じや取り越し苦労をしてしまいます。けれども、親神様

は先回りして段取りして下さっているのだと、ご守護を信じて、人間思案を切り換え、今を精一杯通らせて頂いたらいいのだと思わせて頂きました。



先日の秋季大祭において、真柱様は「つとめたらつとめただけのご守護は現れてくる。また、今しっかりと動いたことは、これから先の歩みのための種まきである。無駄になることはないのである」とお話し下さいました。心強い言葉です。

様々な用事に追われる毎日ですが、なんとか一日一日を無事に終わらせて頂けていることに感謝して、頂いてる役目をしっかりとつとめさせて頂きたいと思います。どんな経験も親神様からのお与えと思い、この経験によって自分が一歩でも先へ成人させて頂けるのだと信じて、通らせて頂きたいと思えます。



みちのだい育み塾開催

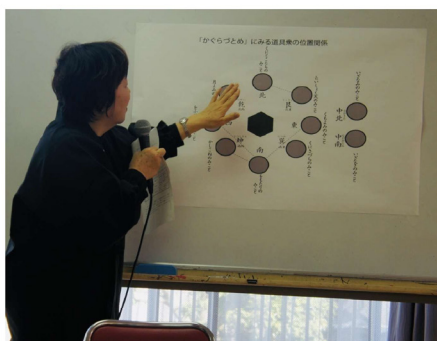
去る十一月二十四日、婦人会旭日支部 天理市支部共催で「みちのだい育み塾」を開催しました。内容は昨年の「おつとめについて① おつとめをつとめる心構え」に次いで今年は「おつとめについて② かぐらづとめと教会月次祭の理」としました。

参加者は司会者を含めて二十五名、他係十五名、託児は三十名でした。

支部長挨拶・係からの説明・十全のご守護を五グループに分けてグループトーク・全体のまとめ・支部長挨拶と進めましたが、参加者は熱心に受講され、人間創造の親神様のご守護を今に返すよろづたすけのかぐらづとめの理について学びを深めました。さらには、かぐらづとめを拝して、一手一つにお勤めをさせていただくこと、また、その理をうけてつとめる教会月次祭のおつとめに心を込めることを確認し合いました。教祖百四十年祭まで二ヶ月足らずとなりましたが、お互い様にこの学びを通して少しでも成人させていただけたらありがたいと思いました。（後継者係・記）



班ごとに分かれ 資料を見ながら十全のご守護について和やかな雰囲気話し合いました。



「かぐらづとめ」にみる道具衆の位置関係を説明



1号館2階にて仲良くお母さんを待ってました。

みちのだい育み塾を受講して

グループの皆さんと、「親神様の十全のご守護」について意見を交わす中で、私たちは日々、数えきれないほどのご守護に包まれて生かされているのだと、改めて感じることができました。

また、親神様のお働きを真に心に受けとめて通らせていただくためには「十全のご守護」のお話を今回限りにせず、繰り返し学び、思案を重ねることが大切であると気づかされました。これは、身上や事情をいただいたときに、どのような心づかいで通らせていただくべきかを考えるうえでも、欠かせない学びであると思わせていただきました。

慌ただしい毎日ではありますが、教祖百四十年祭までの残りの日々、一日一日を親神様のお働きを感じながら、教祖にお喜びいただけるような心づかいを大切にしてお通らせていただきたいと思います。

家城委員部 岩崎真理子

育み塾に参加させていただきました。「おつとめについて」また「十全の守護」の勉強をグループに分かれてさせて頂きました。私のグループは夫婦の雛形である“いざなぎのみこと”“いざなみのみこと”について勉強させていただきました。

日々夫婦で話をする中で、どんな時も「俺らはいろんなことを通して勉強させてもらって、夫婦で信仰させてもらって有難いな～」と、日々の有難さや幸せに気づかせてくれます。

今回の育み塾を通して、まだまだ未熟な夫婦ではありますが、共に話し合い、助け合って通らせていただける日々は、本当に有難いことであり、神様に喜んでいただける陽気ぐらしへの近道であると再確認させていただきました。

年祭まであとわずか、夫婦仲良く、家族仲良く喜び心を忘れず通らせていただきたいと思います。

旭東都委員部 松田日菜乃

今日一つの心忘れぬよう

まあ／＼今日一つの心忘れぬようと、今日一日
の日を忘れぬようと、さづけ渡そ。しいかり受け
取れ。

(おさしづ 明治20年12月5日)



発行日 令和七年十二月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八
天理教婦人会旭日支部